

施策1-3-2 高齢者が安心できる暮らしを支えます

10年後のめざす姿

- ・ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯、家族と同居する高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし、介護が必要になった場合にも、介護サービス等によって自分らしく暮らしています。
- ・介護家族に対するサポートによって高齢者、家族介護者ともに笑顔ですごしています。

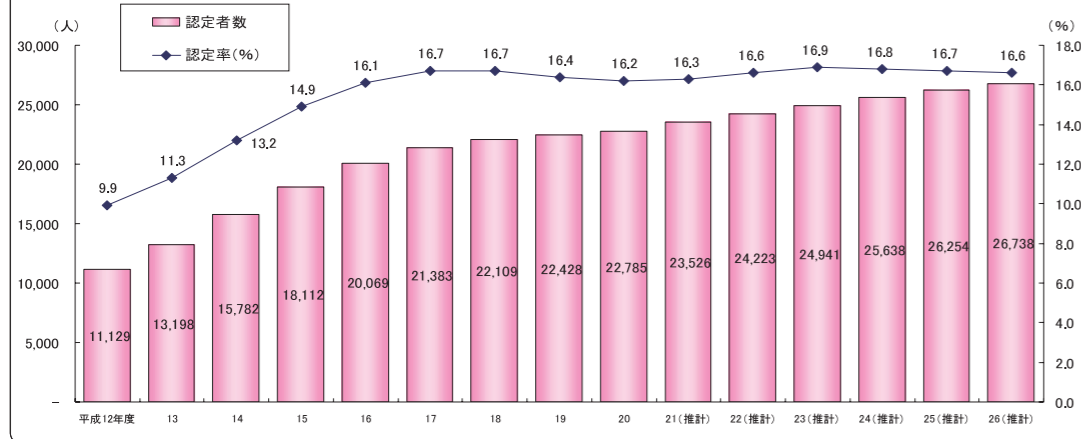
施策の指標と目標値

モノサシ(指標)	現状	平成25年度	平成30年度
ケアプランに満足している居宅サービス利用者の割合(意識調査)	65.9% (平成19年度実態調査)	70%	80%
介護保険施設等の入所定員数	2,160人	2,500人	3,000人
夜間・休日電話相談(高齢者ほっとテレフォン)を知っている区民の割合(意識調査)	—	50%	70%

現状と課題

- 大田区の65歳以上の高齢者人口は年々増加しており、要介護・要支援認定高齢者の割合も増加が見込まれる
- 家庭内の介護者の高齢化など、介護の実態が深刻化する一方で、施設入居は待機者が多く、入所に日時を要する
- 介護が必要になった高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、介護保険以外のきめ細かなサービスを含めて高齢者及び家族への支援整備を進めることが課題
- 高齢者や家族が迅速で的確なサービス利用に結び付く総合相談及びサービス提供体制を整備することが必要

大田区の要支援・要介護認定者数と認定率



出典：第4期大田区介護保険事業計画

施策の方向性と主な事業

- ・地域の見守り体制の整備
- ・ひとり暮らし高齢者や高齢者の世帯の孤立化防止

① ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯への支援

- | | |
|---|---|
| 地域の見守り
◇見守り・支
◇ネットワー
◇緊急通報シ | 体制の整備
え合いネットワー
ク整備の支援
ステムの調査・検討 |
|---|---|



② 在宅介護サービスの充実

- ・介護保険制度の周知・啓発
- ・地域・保健・福祉・医療の連携強化
- ・さわやかサポートの相談機能の充実
- ・自立した在宅生活を支援
- ・介護サービス事業者の育成と質の向上

- 家族介護者への支援**
- ◇ショートステイの拡充、相談の実施、介護セミナーの実施、
 - ◇家族介護者支援事業の充実
- さわやかサポート(地域包括支援センター)の拡充と福祉ネットワークの強化**
- ◇さわやかサポートの運営の検討、再配置
 - ◇相談担当職員研修の実施

- ・介護保険施設により高齢施設を利用
- ・施設による分かりやすい安心して施設等の整備・運営支援者が必要なとき迅速にできる環境整備
- ・自己情報開示、第三者評価、い利用案内など利用者が設の選択ができるよう支援

- ・区の相談窓口への来所相談、外出困難な方への訪問相談など、高齢者が様々な手段で相談できる体制の整備
- ・相談を適切な高齢者支援につなぐ

③ 施設介護サービスの充実と運営支援

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 介護保険施設等の整備支援
◇特別養護老
◇老人保健施
◇認知症高齢 | 人ホームの整備支援
設の整備支援
者グループホームの整備支援 |
|---|--------------------------------------|



④ 総合的な相談体制の充実

- 高齢者総合相談体制の構築**
- ◇夜間・休日電話相談(高齢者ほっとテレフォン)の実施
 - ◇各種高齢者相談の連携体制の構築・推進

施策1-3-3 いざというときに高齢者を支える体制をつくらします

10年後のめざす姿

- ・ 災害時や緊急時にも高齢者の安全が確保され、介護などの支援体制が整っています。
- ・ 金銭・財産等の管理や尊厳ある生活が確保され、高齢者が安心して暮らしています。



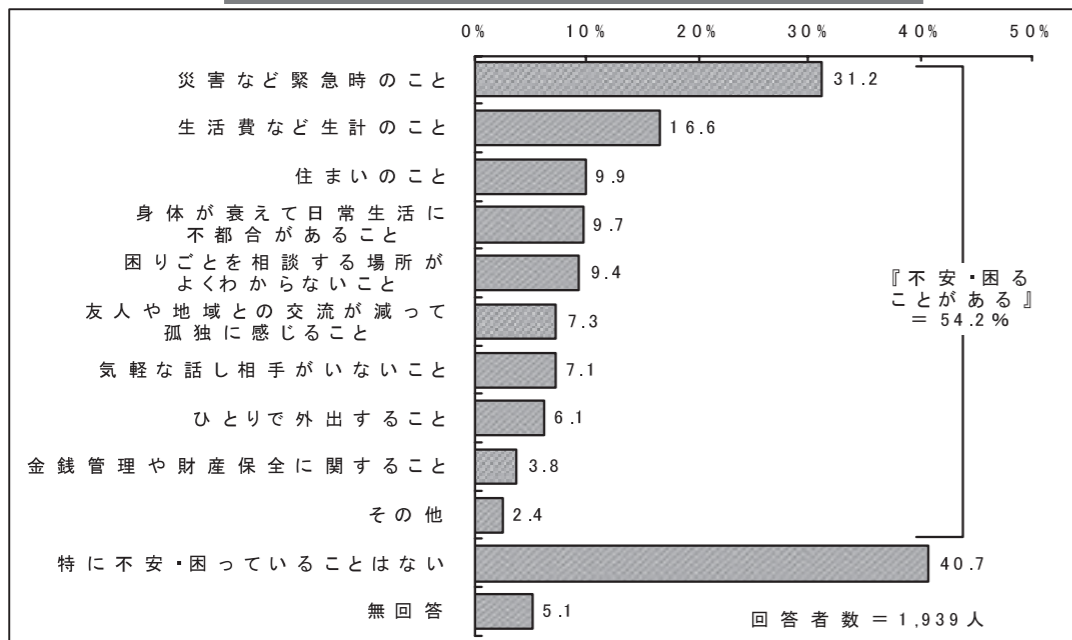
施策の指標と目標値

モノサシ(指標)	現状	平成25年度	平成30年度
成年後見制度を知っている区民の割合	—	50%	70%
高齢者虐待の通報・相談窓口を知っている区民の割合	—	60%	80%

現状と課題

- 核家族化の進行、地域の間人関係の希薄化により、いざというときに高齢者を支える基盤の弱体化が懸念
- こうしたなかで、災害、急病などの緊急事態や経済面、健康面で不安を持つ高齢者が増加
- 個人は日ごろから健康に気をつけることなど、自分でできることをし、行政は介護疲れによる虐待や介護放棄などが生じないように、防止体制を築くことが必要

現在の生活で不安を感じること(複数回答)



出典：平成19年度大田区高齢者等実態調査報告書

施策の方向性と主な事業



① 災害時・緊急時の対応

- ・ 地震や水害など大規模災害時の支援体制づくり
- ・ ひとり暮らし高齢者の病気、高齢者世帯の急な介護など緊急事態に即応できる支援体制づくり

高齢者緊急一時保護・支援体制の整備

- ◇ 虐待や介護放棄など緊急時の支援体制の構築
- ◇ 緊急ショートステイの拡充

災害時相互支援体制の整備(再掲)

② 尊厳ある生活の確保

- ・ 高齢者が誇りを持って生活できる社会づくり
- ・ 自己の財産や日常の金銭管理などに不安のある高齢者や家族を支援
- ・ 高齢者虐待防止や緊急事態に応じた相談
- ・ 介護・医療機関や行政との緊密な連携

高齢者等の権利擁護の推進

- ◇ 成年後見制度の活用支援
- ◇ 後見人の確保
- ◇ 地域福祉権利擁護事業利用促進

